

通信・IT ネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK通信、ぜひお楽しみください。

## 当社はなぜ「キントーン」をつかっているのか？

### キントーン(kintone)とは？

当社では今まで様々な申請書や報告書などを紙伝票や紙の申請書で提出して貰い、それをExcelの一覧で管理していました。最近のDX化の流れの中で、このままでは業務の効率化や在宅勤務などの働き方改革が進まないと考え、なんとかしてデータ化できないかを検討していました。

### キントーン(kintone)のメリット

#### ① アプリ化が簡単！

今、様々な業務で管理しているExcelの管理簿やCSVファイルを、kintoneに読み込むだけでアプリ化してくれて、入力業務や一覧での確認が簡単に行えるようになります。しかもExcelだと同時使用に制約がありますが、kintoneなら同時入力にも対応してくれます。

#### ② プログラミング知識不要！

kintoneはノーコード・アプリです。難しいプログラミングができない人でも、簡単にアプリが作成できます。

日付項目、数値項目、1行文字項目、複数行文字項目など入力項目をワークスペースにドラッグ＆ドロップして貼り付けることで、感覚的に入力画面を作成することができます。一覧表示や条件検索一覧画面も、表示項目を選んだり並べ替えたりすることができます。

データーの絞り込みも全項目を対象に条件を指定して簡単にできるようになります。



キントーン(kintone)は、Excelで管理しているデータを簡単にアプリ化しExcelより快適に管理できるようにしてくれるクラウドサービスです。今まで各管理簿が個人のパソコン内に保管されていましたが、kintoneへ見に行けば、すぐに必要な情報が確認できるようになり情報の共有化が進みました。

#### ③ 多様なアプリが用意されている！

いきなり「DX化を進めよう」と言わなくても、どんなアプリを作ればよいのか？どのようなアプリにすればよいのか？など考えるのは大変です。

部署や業種別に  
アプリ100種類以上



kintoneでは、様々な業種で対応できるアプリがすでに準備されていて自由に使うことができますし、kintone上ではいくつものアプリを作成して利用することができます。

#### ④ 他ソフトウェアとの連携が可能！

業務用ソフトウェアからkintoneにデーターを取り込んだり、又はデーターを他のソフトウェアに送ったりするといった煩わしい作業をすることなく、他のソフトと連携できるサービス(有償)が用意されています。

当社でも、奉行シリーズや帳票アプリの i-Reporterとの連携を検討している最中です。



あらゆる業務をカバーするサービスは  
200種類以上！

